

YEAR BOOK

クリエイティブ・シティ・コンソーシアム

2012

2012.4 >>>> 2013.3

Message

イノベーション創出をもって、日本の生活と産業に
新たな発展の「ストーリー」を生み出していく



クリエイティブ・シティ・コンソーシアム副会長
松島 克守

クリエイティブ・シティ・コンソーシアム会長
小宮山 宏

Creative City Consortium

総務省が発表した2012年10月1日現在の人口推計では、65歳以上の高齢者人口は3,000万人を突破し、本格的な超高齢化社会の幕開けを迎えました。戦後日本の経済発展を担ってきた「団塊の世代」の大量リタイアが進み、日本の社会全体の構造が大きく変わりつつあります。そうした現状にあって、地域社会や住民の生活を維持していくためには、従来の社会基盤や制度・サービス、あるいは生活者一人ひとりのライフスタイルに至るまであらゆることを見直す必要に迫られています。

その一方で、長く世界経済発展の基盤として機能してきたグローバル金融システムの構造的な行き詰まり、中国をはじめとする東アジア諸国の急速な躍進などを受け、社会発展のドライビングフォースとなってきた企業活動もまた、従来同様のアプローチでは継続的な成長が困難な時代となってきています。

時代は大きな変革の時期を迎えており、今こそ持続可能な新しい社会モデルの構築が強く求められています。

クリエイティブ・シティ・コンソーシアムは、このような「課題先進国日本」の多種多様な課題に正面から向き合い、それらの創造的解決に向けた「舞台」としての可能性を都市に見出します。「舞台」を彩る「演者」となるのは、鋭敏な時代感覚をもち、前例にとらわれず貪欲な知的挑戦を続ける次世代型の創造的な人材です。“物量”の時代から“質”の時代へとシフトしている現在、未来に向かう新しい社会をつくるために必要となるのは、「創造性(クリエイティビティ)」です。多様で異なる才能が交流し刺激を与え合うことによるイノベーション創出をもって、日本の生活と産業に新たな発展の「ストーリー」を生み出していくことを目指し、その「舞台」となる二子玉川を中心として実証活動を続けています。

コンソーシアム活動は2010年の設立から丸3年を迎えました。会員数も順調に増加し、進行中のプロジェクトのいくつかは着実な成果を上げつつあります。

2012年度にはコンソーシアムが描く未来のクリエイティブ・シティのためのグランドデザインを策定しました。また、10月に開催した「City Summit 2012」では、国内における創造拠点づくりの先進諸都市を交えてのセッションにおいて、グランドデザインに基づく2030年の未来ビジョンを発信しました。今後は、これまで描いてきたクリエイティブ・シティの実現を図るために、さらに具体的な活動のフェーズに入っていきます。

社会の変化はより加速し、課題はさらなる深化を続けます。課題先進国日本から世界に誇れる次世代型の新しい社会システムを発信・実現するために、2013年度も引き続き実践的な活動を続けていく所存です。

クリエイティブ・シティ・コンソーシアム会長
小宮山 宏

クリエイティブ・シティ・コンソーシアム副会長
松島 克守

小宮山 宏

松島 克守

Overview

コンソーシアムの会員数は設立時の約3倍の規模となりました。会員数の増加にあわせて、その活動フィールドもますます多様な分野に広がってきています。

2012年度は、今後のコンソーシアム活動の大きな方向性を示す「グランドデザイン」作成のほか、その発表の場としての「City Summit 2012」の開催を中心に、ワーキンググループ(WG)およびプロジェクト(PJT)による各専門領域での活動、オープンラボや各種イベントによる人材交流・情報発信活動など、様々な施策を実施しました。

Working Group Event



2012.4 >>>>> 2013.3

- ハニタッチサイネージ「エラビスト」3月アンケート実施 **タッチ「M/M」ユニットWG**
- I・M・E・S 実証実験報告会 **位置情報サービスWG**
- 第11回幹事会
- 第2回 プラチナエッグハンティング・セミナー
- グランドデザインブックが電子書籍化
- 第10回企画委員会
- QUOMOのサイトがリニューアル **スマートモビリティWG**
- LODチャレンジ2012でコンソーシアム主催アイデアソンからの応募作品が入賞
- ハニタッチサイネージ「エラビスト」2月アンケート実施 **タッチ「M/M」ユニットWG**
- 第10回幹事会
- XD Exhibition 2013に協賛
- 第1回 プラチナエッグハンティング・セミナー
- セクウェイ体験試乗会 **スマートモビリティWG**
- 第9回企画委員会
- FLTKO Skating on Projection
- 第1回「二子玉川街情報プロジェクト」ワークショップ「T」でできること。人でツナグこと。」
- ハニタッチサイネージ「エラビスト」11月アンケート実施 **タッチ「M/M」ユニットWG**
- プラチナエッグハンティング実行委員会を結成
- 第9回幹事会・WG/PJTマイルストーンレビュー・新年会
- キッズWG立ち上げ発表 **キッズWG**
- スマートライフ 実証実験終了イベント **スマートライフWG**
- カタリストBAにセクウェイを納車 **スマートモビリティWG**
- 第8回企画委員会
- ハニタッチサイネージ「エラビスト」12月アンケート実施 **タッチ「M/M」ユニットWG**
- 第2回 OpenStreetMapによるインドアマッピングワークショップ(東横渋谷地上駅) **位置情報サービスWG**
- 会員交流会・忘年会
- 第8回幹事会
- 健康講話(テーマ:メタボ) **スマートライフWG**
- ハニタッチサイネージ「エラビスト」11月アンケート実施 **タッチ「M/M」ユニットWG**
- 第4回オープンラボ「ここまでできた!心の奥底を測る表情・視線分析技術」
- 健康講話(テーマ:認知症) **スマートライフWG**
- 第7回企画委員会
- オープンラボ派生企画「オープンデータでツナグ街づくり」/第6回LODチャレンジデー
- カタリストキッズ!ワークショップ(テーマ:GPSをつかって地上絵を描こう)
- 健康ポータル実証実験「eU」開始 **スマートライフWG**
- 第7回幹事会
- ハニタッチサイネージ「エラビスト」10月アンケート実施 **タッチ「M/M」ユニットWG**
- 第6回企画委員会
- City Summit 2012「次世代に繋ぐ未来の都市(まち)づくり」
- グランドデザイン発表/コンセプトブック作成
- 地域モビリティ検討「M/M」ユニット「QUOMO(クオモ)」をスタート **スマートモビリティWG**
- 新未来学×カタリストキッズ!ワークショップ
- Linked Open Data チャレンジ Japan 2012とのサポーター連携
- ハニタッチサイネージ「エラビスト」9月アンケート実施 **タッチ「M/M」ユニットWG**
- 第6回幹事会
- 第3回オープンラボ「タタのヘルスケアビジネス&スマートライフWG」
- The State of the Map 2012(主催:オープンストリートマップ)・ファンデーション・ジャパンに協賛 **位置情報サービスWG**
- 第5回企画委員会
- カタリストBAに知的照明システムを導入(プレスリリース) **次世代環境WG**
- City Summit 2012開催をプレスリリース
- ハニタッチサイネージ「エラビスト」8月アンケート実施 **タッチ「M/M」ユニットWG**
- 第5回幹事会
- 大日本印刷株式会社が幹事に加わる
- 臨時総会・会員交流会・花火大会
- カタリストキッズ!ワークショップ(テーマ:オリジナルアニメ制作)
- 節電緑日2012
- ハニタッチサイネージ「エラビスト」7月アンケート実施 **タッチ「M/M」ユニットWG**
- 第2回オープンラボ「リンクドオープンデータ」と「クラウドファンディング」
- 節電緑日2012「実行委員会を結成
- プラチナ構想ネットワークと相互協力了解書を交わす
- 第4回幹事会
- 節電井戸端会議
- 節電緑日2012をプレスリリース
- カタリストキッズ!ワークショップが第6回キッズデザイン賞(子どもの未来を切り拓くクリエイティブ部門)受賞
- 第4回企画委員会
- カタリストキッズ!ワークショップ(テーマ:アニメの原理)
- ハニタッチサイネージ「エラビスト」6月アンケート実施 **タッチ「M/M」ユニットWG**
- TEDxTokyo 2012ライブビューイングに協賛
- 一般社団法人Maru協会主催(東大・sotoba協力)スケールアウトイノベーションセミナーに協賛
- 第1回 OpenStreetMapによるインドアマッピングワークショップ(二子玉川ライブ) **位置情報サービスWG**
- 健康講話(テーマ:がんの動向と予防対策) **スマートライフWG**
- 第3回幹事会
- カタリストキッズ!ワークショップ(テーマ:デジタル絵本)
- 第3回企画委員会
- 第1回オープンラボ「いま私が節電するということとは、どういことなのか?」一人ひとりが発電所」
- 第1回モビリティ・フューチャーセッション(主催:株式会社グライエに協賛) **スマートモビリティWG**
- ハニタッチサイネージ「エラビスト」5月アンケート実施 **タッチ「M/M」ユニットWG**
- 総会・セミナー・懇親会
- シティサミット準備委員会発足
- 第2回幹事会
- カタリストキッズ!ワークショップ(テーマ:文章表現)
- 第2回企画委員会
- ハニタッチサイネージ「エラビスト」4月アンケート実施 **タッチ「M/M」ユニットWG**
- 第1回幹事会
- ロケーション・クルーズセッション **G空間プロジェクト** **位置情報サービスWG**
- 第1回企画委員会



カタリストキッズ!ワークショップ



TEDxTokyo 2012
ライブビューイングイベント



City Summit 2012



グランドデザイン/
コンセプトブック



スマートモビリティWG「QUOMO」



二子玉川街情報プロジェクト・
ワークショップ



XD Exhibition 2013
トークセッション

コンソーシアム会員数(2013年3月末現在)

法人会員	82社
学会会員	18名
研究会員	2名
個人会員	6名
後援会員	17団体

コンソーシアム活動の拠点となる「カタリストBA」は開業2年を迎えました。コラボレーションオフィス「co-lab二子玉川」で活躍するクリエイターとともに、「知の交差点」のコンセプトを体現する新たなスタイルでの情報発信・価値創造拠点として認知と評価を高めています。

Working Groups & Projects

2011年度に引き続き、2012年度も活発なワーキンググループ(WG)およびプロジェクト(PJT)の活動が推し進められました。新規に立ち上がったWGを含め、8つのWG/PJTが活動を進めています。2013年1月には、各WG/PJTリーダーによる年度活動状況の共有を図る「マイルストーンレビュー」が開催されました。



屋内外シームレス測位実証実験の展開 (位置情報サービスWG)

位置情報サービスWGでは、実践的な屋内外シームレス測位技術に関する実証実験のために、ショッピングセンター内に約100機のIMES(Indoor Messaging System)送信機を常設しました。同時に、IMESの電波を受けて作動するテストアプリケーションの開発が進められ、2013年3月26日には、アプリデモを含めた実験成果の報告会を開催。また、後援会員のOpenStreetMap Foundation Japanとの連携により、二子玉川のショッピングセンターや東横線渋谷地上駅を対象として、屋内外シームレス測位に必要な屋内地図の作成(インドアマッピング)も進められました。



2013年度
に向けて

2013年度以降、それぞれのWG/PJTは、2012年度に発表されたグランドデザインに基づき、さらに活動を深化させていく予定です。新設されたキッズWGが「地域発のクリエイティブ人材育成」と「子どもとの関わりを通じた地域コミュニティの再生」をテーマに本格的に活動を開始するほか、タッチコミュニティWGやスマートモビリティWGなども地域活動との連携を深め、より生活シーンに近いフィールドでのイノベーション実践に挑戦していくことが計画されています。

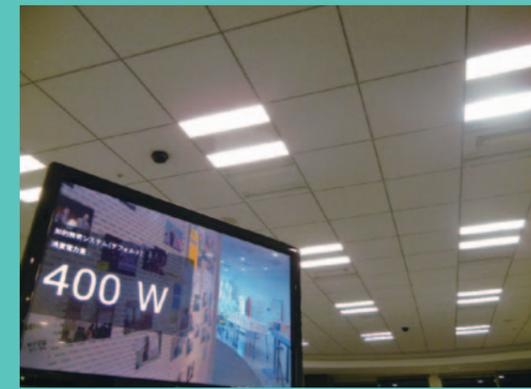


健康ポータルサービス実証実験の展開 (スマートライフWG)

スマートライフWGでは、健康に関する情報やサービスを融合し、生活者の「Good Life」(良き生活)を支援することを目的としたサービス構築の検討を進め、2012年11月1日から2013年1月15日までの2か月半、一般実証モニター43人を対象とした実証実験サービス「eU(プラスマイナスユー)」を実施しました。実証参加者は、ポータルサイトを通じて案内されるスポーツジム施設の利用、健康セミナーや各種スポーツイベント(ノルディックウォーキング、ランニング、ヨガ等)への参加を進めながら、配布された体組成計による日々の健康関連データの計測を続けました。

地域モビリティ検討コミュニティ「QUOMO」の立ち上げ (スマートモビリティWG)

スマートモビリティWGでは、2012年10月に地域モビリティ検討コミュニティ「QUOMO(クオモ)」を立ち上げました。「Quality of Life」(暮らしの質)「Moving Mobility」(心を動かすモビリティ)を合言葉に、新しい移動手段として脚光を浴びるパーソナルモビリティの社会実装を生活者目線で検討していく活動をスタート。2013年2月・3月には、二子玉川で最初のセグウェイ試乗会を開催したほか、パーソナルモビリティと街づくりに関するWEBサイトやFacebookページの立ち上げ、2013年度以降の街中での走行実験に向けた準備を進めています。



知的照明システムの導入 (次世代環境WG)

次世代環境WGでは、「次世代環境WG 知的照明分科会」を結成し、次世代のオフィスモデル研究実践の一環として、学会会員の同志社大学理工学部・三木光範教授の研究により開発された知的照明システムのカタリストBAへの導入を実施しました。導入された知的照明システムにより、「アイスブレイク/リラックス」「プレゼンテーション」といった様々なオフィスシーンに合った調光・調色を行うことが可能となり、ディスカッションやブレインストーミングなどの知的創造活動への寄与が検証されました。



クリエイターネットワークサイトの始動 (J-Creators PJT)

J-Creatorsは、コンソーシアム副会長・松島克守氏が直轄して進めるプロジェクトで、クリエイティブ・クラスを集積を目指し、クリエイターネットワークのサイト構築・運営の企画を進めています。要件に沿ってクリエイターとのマッチングをスムーズかつ的確に行えるシステムとして、登録情報を基にした人口知能アルゴリズムによる適正な選出に加え、実績ある運営者によるマッチングが行われます。人間とICTのハイブリッド型による運営スキームを想定し、デモサイト構築、登録クリエイターの募集を開始しています。

Open Lab.

オープンラボ〜プレスポ

コンソーシアム発足時より開催しているオープンラボは、会員内外の交流を図り、新しいビジネスアイデアの創発を目指してきました。2012年度は全4回開催され、各回ともテーマごとに先端企業の取り組みが発表されたほか、新しいアイデアに関する活発なディスカッションが行われました。

また、派生企画として、「オープンデータでツナグ街づくり」/第6回LODチャレンジデー(2012年11月)が開催され、アイデアソンで発案された企画が「LODチャレンジ2012」のアイデア部門優秀賞を受賞するなどの成果を上げています。

2012年度に開催されたオープンラボのテーマ

- 「いま私が節電するということは、ということなのか? ~一人ひとりが発電所~」(第1回:2012年6月)
- 「『リンクドオープンデータ』と『クラウドファンディング』」(第2回:2012年7月)
- 「タニタのヘルスケアビジネス&スマートライフWG」(第3回:2012年9月)
- 「ここまで来た!心の奥底を測る表情・視線分析技術」(第4回:2012年11月)

RENEW!

2013年度からオープンラボがさらにパワーアップします!

これまでの取り組みを発展させ、2013年度からは「プレスポ/BRAIN SPORTS FOR BUSINESS INNOVATION」としてリニューアルします。ビジネスの第一線を走るトップランナーと、タイムリーで斬新なテーマに耳を傾け、多様な人たちとのビジネストークに参加する。よりアクティブなビジネスセッションとして、創造力を刺激し、未来へのアウトプットを生み出すための新しい取り組みになります。

プレスポ

BRAIN SPORTS
FOR BUSINESS INNOVATION

Events & Activities

2012年度には産・官・学・民からなるコンソーシアムならではの多彩なイベントが行われました。主催イベントは、総会、会員交流会、WG/PJT連絡会、オープンラボ等、年間24回(月2回程度)にのぼります。10月には、コンソーシアム設立以来の大規模イベントとして「City Summit 2012」を開催し、約800名が集まりました。また、二子玉川の地域関係者との連携を深め、街に開かれたイベントも数多く実施されました。

節電緑日2012

電気を消して、街に出よう!

2012
8/1-5

二子玉川で楽しく集まれる「クールシェアスポット」を生み出そうと企画された「節電緑日2012」。一人ひとりが節電を「自分ごと」とし、「楽しみながら節電すること」を目指して、家族で楽しめるワークショップや緑日屋台、コンサートなどが行われました。また緑日に先立って行われた「節電井戸端会議」では、地域の人々が集まって節電アクションについての様々なアイデアを出し合いました。参加者それぞれが「節電宣言」を書き込んだ団扇の写真もこの緑日で展示され、さらに多くの人たちと節電アイデアを共有することができました。5日間で3,000人以上が参加した、記憶に残る大きなイベントとなりました。



City Summit 2012

次世代に繋ぐ未来の都市(まち)づくり

2012
10/12

クリエイティブ・シティ・コンソーシアムが、未来の都市を考える大規模なカンファレンスとして開催した「City Summit 2012」。建築家の安藤忠雄氏による基調講演「魅力ある都市」を皮切りに、富山市、石巻市、横浜市とコンソーシアムによる取り組み事例のプレゼンテーション、「次世代都市と官民連携のありかた」をテーマにしたトークセッションが行われ、次世代都市の果たすべき役割や現状の課題が話し合われました。

コンソーシアムが思い描くクリエイティブ・シティのグランドデザインを基に「多様な才能を吸引し、融合させ、新しい機会を生み出すクリエイティブ・シティを創成する」というメッセージが発信されました。

- オープニング: 小宮山 宏氏(クリエイティブ・シティ・コンソーシアム会長)
 基調講演: 安藤 忠雄氏(建築家・東京大学名誉教授)
 プレゼンテーション:
 松島 克守氏(クリエイティブ・シティ・コンソーシアム副会長)
 森 雅志氏(富山市長)
 浜野 四郎氏(横浜市温暖化対策統括本部長)
 亀山 紘氏(石巻市長)
 ナビゲーター:
 村木 美貴氏(千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻准教授)



2013
2/3

第1回二子玉川街情報プロジェクト・ワークショップ

「ITでできること。人でツナグこと。」

二子玉川100年懇話会*とコンソーシアムとの共催で行われた「第1回二子玉川街情報プロジェクト・ワークショップ」には、地元の方々を中心に約60名が参加。災害時に備えてコミュニティづくりを支援する地域の情報基盤のあり方についてグループごとに検討・発表し、地元との交流が行われました。

コンソーシアムは、今後も地域との連携を深め、グランドデザインを地域に具現化していく実践活動を行っていきたく考えています。

*二子玉川100年懇話会=100年先も豊かに発展し続ける街を目指して

- 1.みず、みどり、さか-自然を活かした安全で快適な環境づくり-
- 2.暮らしやすさ-災害に強く、豊かな生活環境づくり-
- 3.まちのにぎわい-東西が一体となったにぎわいの核と回遊性づくり-という3つのテーマを掲げて地域関係者が定期的に行っているミーティング。



'FUTAKO Skating on Projection'

2013
2/10-3/3



2013
2/23-24

'XD Exhibition 2013'



メディアとデザインの先端を二子玉川に

慶應義塾大学環境情報学部准教授の寛康明氏(学会員)から最先端技術のレクチャーを受けたことをきっかけに、二子玉川ライズ・ギャラリーのスケートリンクを巨大なスクリーンに見立てたアートプロジェクト「FUTAKO Skating on Projection」や、慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科による次世代メディア技術・デザインの研究展示会「XD Exhibition 2013」などを開催。二子玉川で最先端技術を使った作品を展示する機会は、コンソーシアムにとって新しいアウトプットの可能性を実証する興味深い試みとなりました。

2013年度に
向けて

新規WG/PJTをインキュベーションするためのイベント「プラチナエッグハンティング」、WG/PJT活動成果の発表の場としての「クリエイティブ・シティ・フォーラム2013」(2013年度下期開催予定)、「City Summit 2014」(2014年度下期開催予定)の企画立案など、今年度も多くの方々に惹きつけるイベントを推進していきます。

Member's Voice

コンソーシアムには、幅広い分野で活躍する多くの企業が参画しています。2012年度も多くの会員がそれぞれの関心分野において、ワーキンググループやイベントに参加し、積極的に活動を行いました。こうした活動は、各企業における課題克服やイノベーション創造にもフィードバックされていくとともに、会員一人ひとりの声やアイデアが、コンソーシアムの描く未来創造の原動力となっています。

+ インタビュー項目

- Q1. 氏名/会社名
- Q2. 所属ワーキング(あれば)
- Q3. 12年度にコンソーシアムで頑張ったこと
- Q4. 13年度にコンソーシアムで実施したいこと
- Q5. 「これからの街はこうなるとよい」と思うこと
- Q6. その他、ひとことコメント



Q1. 工藤 公久さん/GMOリサーチ株式会社

Q2. まだWG/PJTには所属していないが、今後リサーチ会社としても持っているノウハウやスキルを活かして、各WG/PJTの役に立てるといいと思っている。

Q3. 11月のオープンラボで人の視線行動(何を見ているのか)を明らかにするアイトラッキング調査のデモとプレゼンをしたこと。参加いただいた方から「こんなことに活用できるかも」と思いもよらない新しいアイデアをもらうことができて非常に有意義だった。

Q4. 定量化された「数値」を扱うリサーチ業だが、その本質は「人を見て人を知る」ことだと思っている。これからの街づくりの中でリサーチという視点を活かしていきたい。

Q5. 「人と人がつながりやすい街」が実現できるとよい。そのためには「人が集まる活動の中心となるエリア」と「暮らしやすい住宅街のあるエリア」が近接していて、大きな移動を要せず行き来できることが必要ではないかと思う。

Q6. コンソーシアムのイベントは、どれも「前向き」で「何かを生み出そうとしている」人が多く集まっていて、そうした人たちの出会いはとても貴重な機会だと感じている。今後も積極的に参加して新たな関係性をつくっていききたい。



Q1. 内原 英理子さん/株式会社日建設計

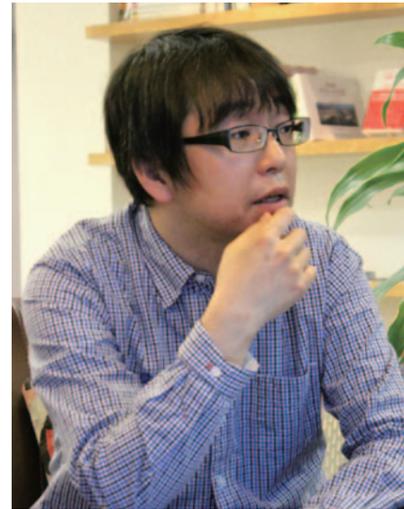
Q2. 次世代環境WGに所属(WGリーダー会社)

Q3. クリエイティブ・シティのグランドデザイン作成に注力した。会社としては、二子玉川再開発2期事業の設計を担当しているが、特に二子玉川では、未来のライフスタイルの変化を踏まえて設計を考えていかなければいけないと感じている。今回のグランドデザイン作成は「ビル単体のことだけでなく、エリア全体に視野を広げた街づくり」を考えるきっかけとらえている。

Q4. 地元の人たちと一緒に動き、ともに街づくりを考えていきたい。二子玉川再開発2期事業も着々と進展していく中で、「次の街づくり」のための仕込みを始めていく時期だと思っている。

Q5. 職住近接は重要。自分自身も二子玉川まで自転車で15分程度のエリアに住んでおり、週末は自転車で来ることもあるが、とても気持ちよい。

Q6. 最初のうちはコンソーシアム内で何をすべきか戸惑いもあったが、今は関わり方がわかってきた。新しいステージに向け、WG間の連携や新しいWGの創出が進んでいくといいと思う。現状にとどまらず新しい局面を切り拓いていくのは大変なこともあるが、やはり面白い。



Q1. 高橋 陽一さん/インディゴ株式会社

Q2. タッチコミュニティWG、位置情報サービスWG

Q3. LOD(Linked Open Data)をテーマに、オープンラボへの登壇やその後のLODチャレンジ共催イベントを実施した。データを「つなぐ」ことで「community」をつなぎ「opportunity」を創出する可能性を有するLODは、コンソーシアムに適したテーマだと思う。

Q4. 引き続きLODでできることを考えていく。LODをテーマに各地で分野や背景の異なる人や場がつながり、そこから具体的な成果物が生成される流れができつつある。二子玉川でも「この場所を基点としたLOD活用」を考えていければと思う。

Q5. 時間と場所を限定しない緩やかな参画可能性としてのデータを介した「非同期のつながり」に注目している。Face to Faceの膝突き合わせによる合意形成だけではなく、様々なログ/センシングデータやデータライブラリなどの活用/分析から、Face to Faceでは言語化し難かったニーズや課題などを見つけ出す。そのために必要なデータ等の個人提供のような「非同期のつながり」をもっと活用できる街づくりに興味がある。

Q6. イベント開催日に限らず、ふらっと立ち寄りというも誰かがいて、気軽に様々なことについて話ができるような、「部室」のような場所があるとよい、と常々思っている。カタリストBAがそんな場所になっていくとよいのでは。



Q1. 亀田 和宏さん/大日本印刷株式会社

Q2. まだWG/PJTには所属していないが、今後新しいWGを立ち上げたいと思っている。

Q3. 8月から幹事の一員となり、プラチナエッグハンティング・セミナーの企画・実行に協力したこと。活動を通じて「ここに来れば何かが起きる」ということが肌で感じられた。得られた「気づき」を次につなげていきたいと思う。

Q4. 新しいWGを立ち上げる! プラチナエッグハンティング・セミナーを機に「ネイチャー・テクノロジー」のタネを蒔くことができたように、今後もコンソーシアム内に新しいタネを蒔いていきたい。

Q5. 本社周辺で再開発を行っているが、水辺や緑の活用、コミュニティづくり、新しいモビリティの導入など、これからの街づくりは今までにない新しい発想を大いに膨らませていくべきだと思っている。コンソーシアムの多様なメンバーとのセレンディビティに大いに期待している。

Q6. 「つながり」がもっと重要になってくる。フューチャーセンターのような場(BA)をつくるのは出発点であって終点ではない。コンソーシアムは価値創造の基盤ができているので、それに基づいてもう少し具体的なコトを起こしていきたい。政策提言をしたり、予算をつけてプロジェクトを走らせるなどの試行錯誤が必要かと思う。

クリエイティブ・シティ・コンソーシアム

二子玉川をモデル地区として、新しい働き方・暮らし方を発信し、持続的に成長する街＝クリエイティブ・シティをつくりたいとの思いを共有する6法人が発起人となり、2010年8月に設立されました。2013年3月末現在、法人会員82社、学会会員18名、研究会員2名、個人会員6名、後援会員17団体が参加して、クリエイティブ・シティの実現に向けて、そのグランドデザインの検討・発信、必要なインフラの研究・実験・実証等を行っています。

E-mail: info@creative-city.jp

URL: <http://creative-city.jp/>

活動拠点:カタリストBA

<http://catalyst-ba.com/>

〒158-0094 東京都世田谷区玉川2-21-1 二子玉川ライズ・オフィス8F